

車両基本操作 マニュアル



eMoBi CS

10.28.2024

目次

えもびレンタルにあたって

P3~4	デジタルパネル説明
P5~6	ハンドル周りスイッチ説明
P7~8	ブレーキ説明
P9	シート移動方法
P10~11	本体充電方法
P12	運転における注意事項
P13	運行前の点検方法
P14	使用上の注意点
P15~18	本体スペック



デジタルパネル説明 1



◆スピードメーター(中央)

走行時デジタルパネルに km 表示されます。

◆モーター回転数 (右)

モーターの回転数が右側のメーターに表示されます。
(特に注視する必要はありません。)

◆バッテリー残量表示(左)

バッテリーの残量は左側のゲージに表示されます。

◆READY ランプの左のガソリンマークが光ると
残り残量が 5~10% です。残り走行可能距離は 3km です。

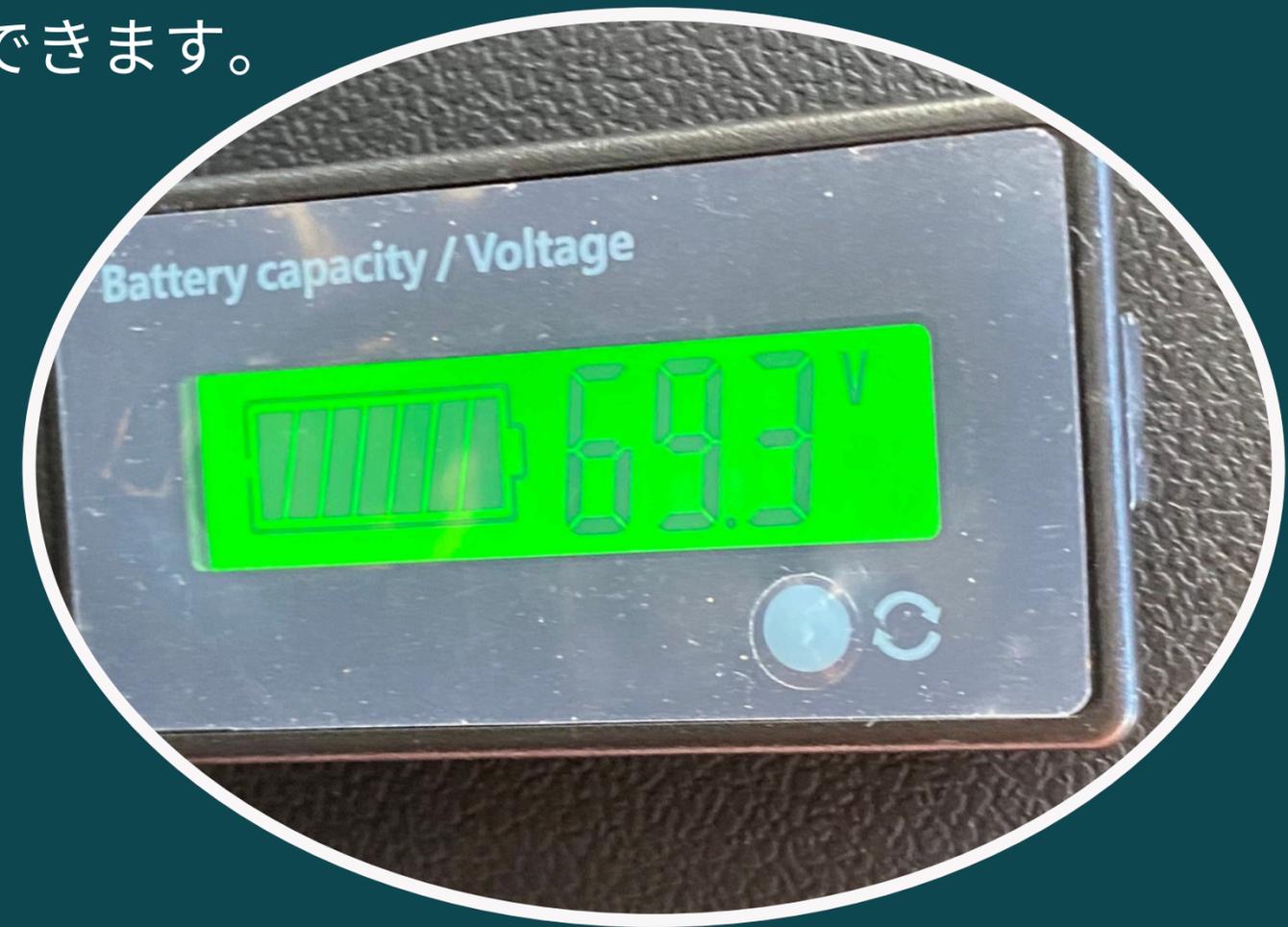
◆走行モード

P(パーキング)、D(ドライブ)、N(ニュートラル)、R(リターン)で
画面右横に表示されます。

1,2,3のギア表示は特に意味のない数字です。

デジタルパネル説明 2

- ◆ ボタンを押すことによって電圧、%表示と切り替えることができます。
100%で40km走行することが可能です。
※2パラモデルは80km走行が可能です。



スイッチ類説明 1



- ◆ハンドル右のスイッチをDにし、右にあるスロットルをまわすと前進します。Rにするとバックします。真ん中の状態がN(ニュートラル)です。

【要注意ポイント】

本車両は完全静止していない状態で、D or Rの切り替えをした場合Dレンジで後退、Rレンジで前進してしまう可能性があります。シフトの切り替えは静止状態で行うようにしてください。



- ◆ハンドル右のスライドスイッチを右に合わせると消灯、中央がポジションランプ、左でメインライトが点灯します。
- ◆赤いボタンがホーン(クラクション)スイッチです。
- ◆ハンドル左側の一番上のスイッチがフロントライトのハイビーム、ロービームのスイッチです。夜間はハイビームを推奨します。
- ◆左ハンドルのスライドスイッチがウインカースイッチです。

【要注意ポイント】

ウインカーは自動車のように、自動では戻りません。曲がり終わった後は、必ずスイッチを元の位置に戻してください。

スイッチ類説明 2



- ◆赤いホーンスイッチの横がハザードボタンです。
- ◆運転席左下にある以下画像のスイッチを上を押すとワイパーが動きます。
- ◆中の鏡を動かすとミラーの角度が調整できます。





ブレーキ 説明 1

☑️ パーキングブレーキ
OFF 状態



☑️ パーキングブレーキ
ON 状態



☑️ ブレーキレバーを握ると
解除できます



☑️ サイドブレーキは
床につくまで下げる





ブレーキ 説明 2

- ◆ハンドル左右のブレーキレバーの根元にレバーロックキャリパーがついています。ブレーキレバーを引き、レバーの凹凸にフックを噛ませることでブレーキが効いている状態になります。つまりパーキングブレーキをかけることができます。
- ◆ブレーキレバーを握って、ツメを画像②のように噛ませられれば完了です。解除する際は、もう一度ブレーキを握ると解除できます。
- ◆平坦な道での駐車は、運転席右横にあるサイドブレーキで十分ですが、急な坂道等での駐車はブレーキレバーでのロックの使用を推奨します。
- ◆坂道発進時は、ブレーキレバーを握った状態で、アクセルを全開にします。その後、アクセルを入れたままで、ブレーキから手を離すことで、坂道を下ることなく発進できます。

【要注意ポイント】

傾斜のある坂道では、車両が20cmほど後退する場合があります。後退を恐れてブレーキをかけてしまいますと坂を登れない状態が続いてしまうため、**少し後退してからの蹴り出しが始まるまでアクセルを入れ玉まで待機してください。**

- ◆発進前は必ずサイドブレーキレバーを下まで下げてください。レバー先端の銀色のボタンを押すと下がります。**レバーが床に着くまで下げないと車両が発進しないので、しっかり一番下まで下がっているか確認してから発車してください。**



01



02



座席 調整

- ◆ 右側に設置された充電コネクタの上にあるレバーが、スライドレバーになります。レバーを上下させることで、シートを前後 することができます。
- ◆ 左側に設置されたレバーが、シートレバーになります。そのレバーを上下させることで、シートの傾きを変えることができます。

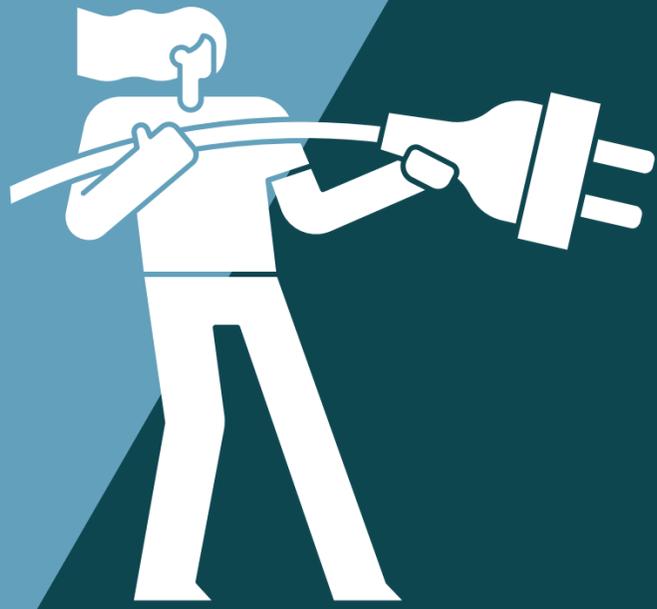
※車両仕様によってはシート角度調整、前後調整のレバーの2つとも 運転席左側に設置されております。



充電 方法



- ◆充電口は運転席右側面のシート下にあります。オレンジ色部分になります。
- ◆ご家庭用の 100V 電源で、充電頂けます。
- ◆充電器を差し込むと、充電器自体のランプが緑から赤ランプの点灯に変わります。充電が完了すると充電器の LED 点灯が赤から緑に変わり自動的に排熱ファンが停止し過充電防止装置が稼働し、充電が終わります。本体充電プラグから充電器のコンセントを外して充電完了です。



充電 方法



- ◆1ヶ月以上無充電ですと車両が壊れる可能性があります。
- ◆必ず充電器をコンセントに先に刺してから車両の充電プラグにさしてください。
- ◆充電器は非常に熱を持ちますので素手で触る際は十分にご注意ください。
- ◆充電時は必ず、充電器が雨に濡れないようにしてください。
- ◆車両を動かしていない時期も含め、充電していない期間が1ヶ月以上続かないようにして下さい。

【要注意ポイント】

本車両は電源をオフにしても微量ながら充電残量が減少するためこまめな充電をお願いします。



バッテリー 着脱方法

① 後部座席の座面を開ける

無理やり動かさず、2か所のねじが外れていることを確認してください



② フタをはずす

①同様に、4か所のねじが外れていることを確認してください



③ 黒いバーを外す

①②同様、2か所のねじが外れていることを確認してください 六角ネジとなっています



④ コードを外す

青い部分を回しながらやさしく外してください





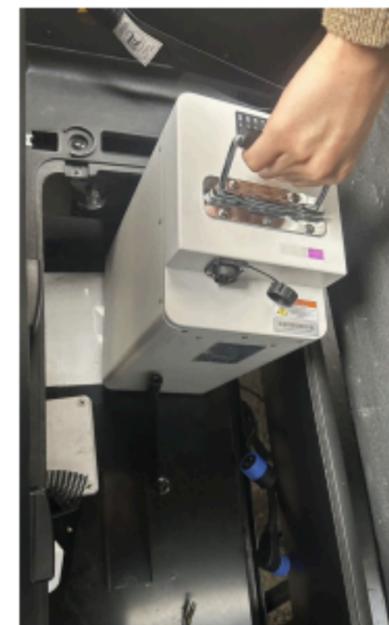
バッテリー 着脱方法

・バッテリートレイには2つ分のバッテリーを置くスペースがありますが、同時に2つのバッテリーにホースを繋ぐと車両が故障します。絶対におやめください。2つバッテリーを置くこと自体は問題ありません。

ホースを両方のバッテリーに繋いでしまうことが問題です。

① バッテリーを車両から取り外す

バッテリーは非常に重いため、ゆっくりと動かすようにしてください



コードの差し込み口の蓋を閉めてください

バッテリーを取り付ける時は逆の手順で行います
運転席と同じ方向を向いたときの**左側**に置くようにしましょう

車両前方

左



右

車両後方

本体スペック

【車体重量】 260 kg(バッテリー含む)

【サイズ】 長さ×幅×高さ 2375mm×1210mm×1600mm

【最大乗車人数】 3人

【モーター】 定格出力 1500w

【1充電あたり走行距離】 40km

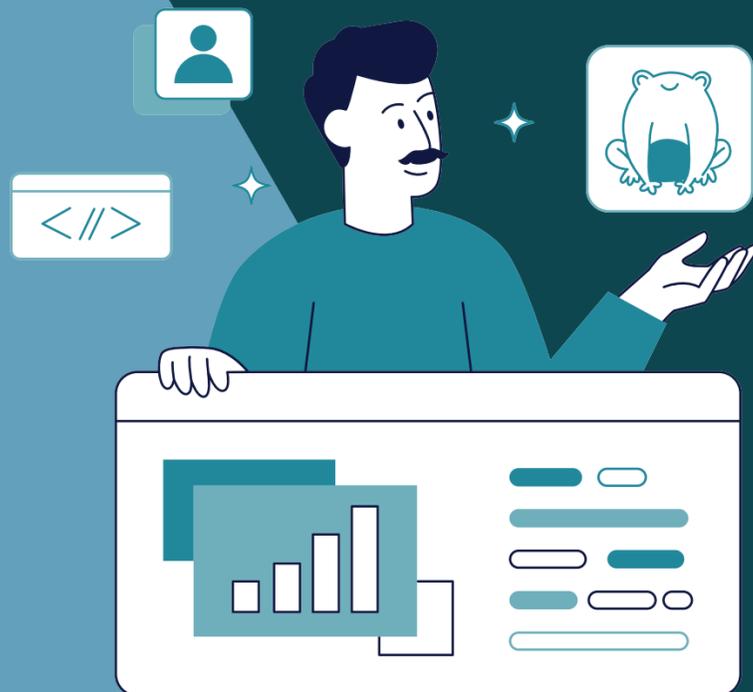
【最高速度】 50km/h

【ブレーキ】 フロント/油圧ディスク リア/油圧ディスク

【ステアリング】 バーハンドル方式

【サスペンション】 油圧式(フロント/リア)

【ドア】 なし



注意事項 1

安全の為、必ずご一読下さい。

【スペックアップ等の改造や増設】

本製品において、タイヤ、ブレーキパット、バッテリー交換等以外の、モーターの追加、改造、増配線などによる分解等において起きた事故や故障等については弊社では一切責任を負いません。

【充電時のご注意】

充電の際、充電器は必ず、付属の専用充電器をご使用ください。

※他の製品の充電器で充電した場合、発火、爆発、延焼の可能性がありますので絶対に行わないでください。また、屋外での雨天時の充電はショートし本体、充電器共に故障の原因となりますので、必ず屋内または屋根付きの雨天時でも濡れない環境で充電して下さい。

バッテリー2つを同時に車両に装着し走行や充電をすることは絶対におやめください。
車両が動かなくなります。

注意事項 2

【保管方法】

保管は屋内または屋根付きの場所に保管されるか、屋外の場合、雨カバーシートをかけてください。保管時の雨ざらしは故障の原因となりますのでご注意ください。当製品は車検が無いことで、管理責任はご使用者様ご本人の責任となります。使用頂くことで、バッテリー、充電器を始め、ブレーキパットやタイヤの摩耗など、必ず安全にご使用頂くために定期点検をお勧め致します。万一、ブレーキパットの摩耗やタイヤの溝の不足によるスリップ事故など、運行前、定期点検を怠った場合の事故に対しての責任は負えませんのでご理解賜りますようお願い致します。